

## 令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立島根中学校）

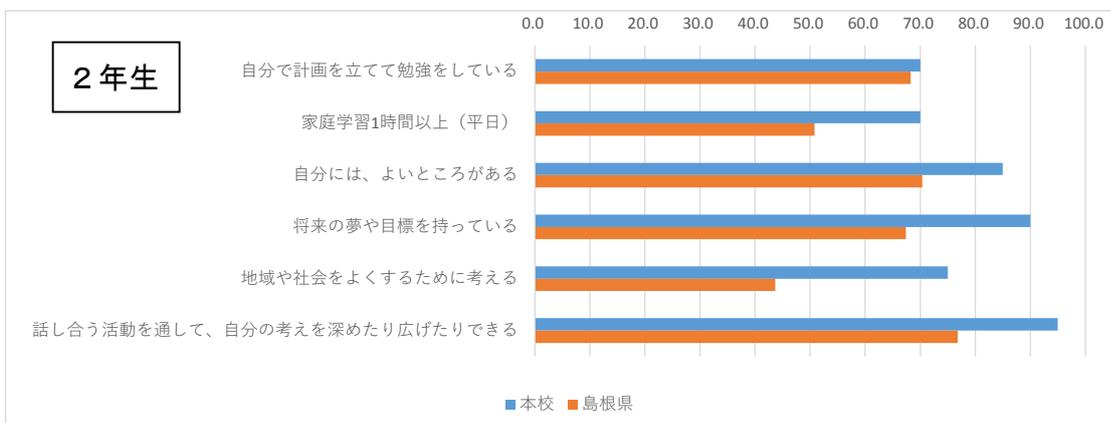
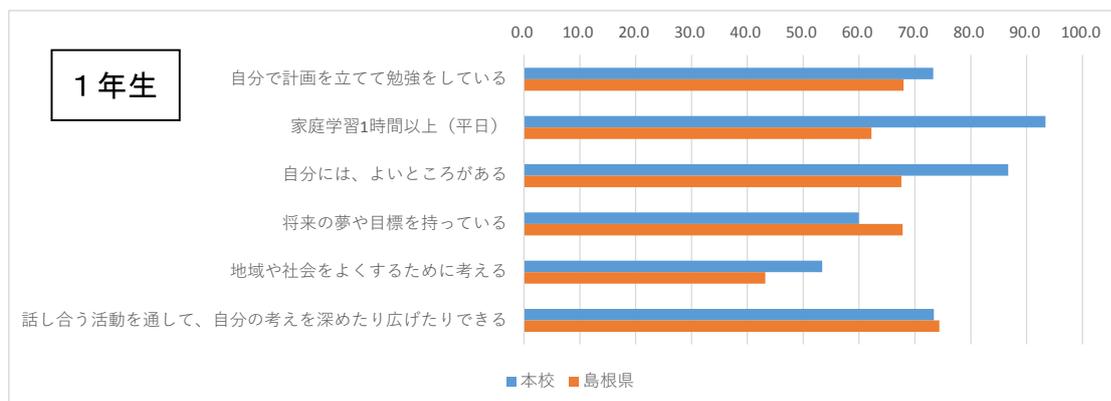
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○指定された長さや構成で、自分の考えを明確にして文章を書く問題の正答率が高い。 ○文法に関する事項の正答率が高い。 ●小学校で学習した漢字の書き取りの正解率が低い。	2 年 国 語	○すべての領域について、正答率が高い。 ○特に、小学校で学習した漢字の書き取りの正解率が高い。 ●行書の特徴の問題と、説明的文章の構成についての問題が、目標値を下回った。
1 年 数 学	○「1次方程式」の正答率が高い。 ●基礎的な問の正答率が高いが、思考・判断・表現を問う問題の正答率が低い。 ●関数では、式やグラフに表すことに課題がある。	2 年 数 学	○すべての領域をよく理解して正答率が高い。 ○特に「証明」、「知識・技能」の正答率が高い。 ●「思考・判断・表現」を問う問題の正答率がやや低い。 ●複数の内容を融合した問題を苦手とする生徒が多い。
1 年 英 語	○基本的な文の語順を理解しており、並べ替え問題において正答率が高い。 ●場面や条件に合った英文を正確に書くことができていない生徒が多い。 ●長文を読み、要点を捉えることを苦手としている。	2 年 英 語	○語彙や語法の基本的な知識が身に付いており、正答率も高い。 ●対話文やまとまりのある英文を聞き、要点を捉えることを苦手としている生徒が多い。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○「自己肯定感」「家庭学習1時間以上」などの項目について肯定的な回答の割合が高い。 ●地域や社会に関連した項目について肯定的な回答の割合が低いため、興味関心を高める活動を取り入れる必要がある。	2 年	○本校の取組でグループ活動を多く取り入れているので、ほとんどの生徒が「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる」と考えている。 ●家庭学習への取組については、生徒間で計画性や学習時間に差がある。
--------	---	--------	--

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 15名 2年生 21名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。